

～世界平和アピール七人委員会講演会～

と き：平成27年3月7日(土)

13:30～16:00頃まで

ところ：篠山市民センター 2F
多目的ホール

演 題：「福島、放射能、被曝」

講 師：池内 了(さとる)さん
(世界平和アピール七人委員会委員)



平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、福島第一原子力発電所がメルトダウンを起こし、放射性物質が拡散する事故がありました。今もなお、多くの方が避難生活を余儀なくされています。

本市は、高浜原発から45～70km圏内に位置しています。高浜原発で、福島第一原発事故と同程度の事故があった場合、兵庫県が発表した放射性物質拡散シミュレーションによると、甲状腺等価線量は国際原子力機関(IAEA)が定める基準の2倍を超えます。

原発事故を受け、市として原発事故に備えて放射性ヨウ素による内部被曝を防ぐ「安定ヨウ素剤」を備蓄し、その学習会を自治会ごとに開催しています。

世界平和アピール七人委員会は、昨年7月18日「原発再稼働の条件は整っていない」とするアピールを発表されています。今回ご講演いただく池内了さんは、宇宙物理学が専門でいらっしゃいます。また、事務局長としてお越しいただく小沼通二さん(慶応義塾大学名誉教授)も素粒子物理学がご専門で、日本物理学会会長をお務めになられるなど、わが国物理学界の第一人者の方々にお越しいたします。

主 催：篠山市、世界平和アピール七人委員会、(公財)下中記念財団

問い合わせ：人権推進課 : 552-6926



【講師プロフィール】(世界平和アピール七人委員会ホームページから引用)

専門は宇宙論・宇宙物理学、科学と社会。1944年兵庫県姫路市生まれ。名古屋大学名誉教授・総合研究大学院大学名誉教授。京大、北大、東大、国立天文台、大阪大学、名古屋大学、早稲田大学、総合研究大学院大学を歴任。現在は科学と社会の関わりについて教育・評論活動に従事し、「新しい博物学」を提唱。著書に、『疑似科学入門』、『現代科学の歩き方』、『禁断の科学』、『科学者心得帳』、『科学の限界』などがある。最近、ライフワークである『科学・技術と現代社会』を上梓した。

【下中弥三郎（しもなかやさぶろう）と世界平和アピール七人委員会】

下中弥三郎：

1879（明治11）年6月12日、今田村（現・兵庫県篠山市今田町）下立杭に陶工喜久蔵の子として生まれる。9歳で父を失い小学校を中退、陶工として働きながら百科辞典を読んで独学で勉強し、小学校教師、師範学校の教師となる。労働・婦人運動にも積極的に取り組みつつ、「出版とは教育である」という理念のもとに、1914（大正3）年に「や、これは便利だ」という現代用語事典を著し、平凡社を創業、「世界美術全集」「現代大衆文学全集」などを次々に世に送り出し、一躍出版界の先駆者となる。晩年は、1951（昭和26）年も世界の国と人々がお互いの文化を尊重する平等で平和な「世界連邦」を提唱、「世界平和アピール七人委員会」を立ち上げ尽力した。1958（昭和33）年12月、旧今田村は、第1号の名誉村民として推戴。1961（昭和36）年2月21日没。

旧今田町は、1984（昭和59）年6月に故人の事業を記念する顕彰塚として故郷の下立杭東部、虚空蔵山山麓に「やさが塚」を建立。弥三郎の筆による「雲」の文字を彫刻家の流政之が彫刻し、標柱の「やさが塚」の文字は弥三郎の友人で元法政大学総長 谷川徹三氏の揮毫。ミニ公園として整備されている。

世界平和アピール七人委員会：

1955（昭和30）年11月11日に平凡社社長下中弥三郎の提唱によって発足。人道主義と平和主義に基づいて国際間の紛争は絶対に武力によらず、平和的な話し合いで解決すべきだと考え、国内・国外に意見表明を続けてきた不偏不党の知識人・文化人有志7人の会です。会に加わる条件は、1. 実際の政治にタッチしていない人（政治家でないこと）、2. 自由人で民主主義陣営の人、3. 世界的に平和運動を行い得る人の3つです。発足当時の委員は、下中弥三郎、植村環、芽誠司、上代たの、平塚らいてう、前田多門、湯川秀樹の7人でした。

現在の委員は、武者小路公秀（むしゃこうじ きんひで 国際政治学者、アジア太平洋人権情報センター会長など）、土山秀夫（つちやま ひでお 長崎大学名誉教授）、大石芳野（おおいし よしの 写真家 日本大学客員教授）、小沼通二（こぬま みちじ 素粒子物理学者、慶応大学名誉教授）、池内了（いけうち さとる 宇宙物理学者、名古屋大学名誉教授）、池辺晋一郎（いけべしんいちろう 作曲家 東京音大名誉教授）、高村薫（たかむら かおる 作家 93年直木賞受賞）の7名。これまで114本のアピールを発表（2014年12月5日現在）し、毎年11月には国内各地で講演会を開催しています。

本来は政令市等の大都市で開催されますが、下中弥三郎没後50年の節目である2010（平成22）年11月に篠山市で記念講演・シンポジウムが開かれ、以来、委員会のご厚意で毎年各委員の持ち回りによる講演会が開催されています。